



富田林のいいところ

大阪府の東南部に位置する富田林市は、自然と歴史に恵まれたすばらしいまちで、古くから南河内地域の中心地として発展を続けています。そんな富田林のなかには、わくわく、どきどきのスポットが数多くあり、ごく一部ですが、どんな街かを紹介します。



【富田林寺内町】

興正寺別院を中心とした寺内町として誕生・発展し、現在も六筋七町の町割りや、重要文化財旧杉山家住宅、仲村家住宅などが残存し、地域全体が大阪府内唯一の重要伝統的建造物群保存地区に選定されています。



【瀧谷不動明王寺】

弘法大師が開いたとされる真言宗のお寺で、日本三大不動の一つといわれ、「眼の神様」などと広く信仰されています。毎月28日の縁日には参道に多くの屋台が並び、参拝客でにぎわいます。



【新堂廃寺跡・オガンジ池瓦窯跡・お亀石古墳】

新堂廃寺は、出土した瓦などから飛鳥時代に創建されたと考えられています。その北西丘陵上にあるお亀石古墳は、露出した石棺の周囲に新堂廃寺で出土したものと同じ瓦で積み、仏教の伝来との深いかわり指摘されています。また、オガンジ池瓦窯跡はこれらをの瓦を焼いたと考えられています。



【サバーファーム】

20ヘクタールの起伏に富んだ大地に、体験農園、果樹展示園、温室、花壇などが点在している「香りと実りの農園」。



【すばるホール】

国内最大級のプラネタリウムで惑星間旅行を味わえます。また、ホールではコンサート等のイベントも催されます。



【総合スポーツ公園】

自然環境を活かした市民スポーツ&レクリエーション活動の場です。施設内のバッファローズスタジアムでは、プロ野球公式戦も開催されます。



【PL教祖祭花火芸術】

毎年8月に開催されている花火大会で、約2万発に及び花火が夜空に舞う世界最大スケールの花火祭です。



【秋祭り】

古くから実りの季節を喜ぶ重要なイベントで、市内各地で勇壮なだんじりの曳行が見られます。

このほかにもたくさんの名所やスポット、イベントがあります。ぜひ市内を散策し、『とんだばやし』を満喫してみてください。